

先端科学技術講習会 2004

一次世代電源と炭素材料

趣旨：エネルギー・環境問題への要請から次世代電源の開発の必要性がさげばれてもう久しくなります。次世代電源の新技术は実験段階から応用段階へと進み、我々の身近に商品として出現し始めています。御存知のように、これら次世代電源とよばれるリチウム二次電池、電気二重層キャパシタ、燃料電池のいずれにおいても炭素材料は非常に重要な役割をしています。21世紀は炭素の時代と言われるように、今後も炭素材料は我々人類の未来に重要な役割を果たすものです。次世代電源技術のこれまでの進歩、そしてこれから解決していかなければならない問題点を講演者の方々に説明していただきます。多数のご参加をお待ちしております。

主催：炭素材料学会

協賛：エネルギー・資源学会、(社)応用物理学会、(社)化学工学会、(社)環境科学会、(社)高温学会、(社)高分子学会、環境資源工学会、(社)資源・素材学会、(社)自動車技術会、(財)省エネルギーセンター、触媒学会、人工結晶工学会、(社)石油学会、石油技術協会、(社)繊維学会、炭素協会、(社)低温工学協会、(社)電気化学会、(社)電気学会、(社)電子情報通信学会、(社)日本エネルギー学会、(社)日本化学会、(社)日本機械学会、日本吸着学会、日本金属学会、日本結晶学会、日本結晶成長学会、(社)日本原子力学会、日本材料科学会、(社)日本材料学会、(社)日本生化学会、(社)日本生物工学会、(社)日本セラミックス協会、(社)日本鉄鋼協会、(社)日本トライボロジー学会、日本熱測定学会、日本熱物性学会、日本燃焼学会、(社)日本農芸化学会、日本表面科学会、(社)日本ファインセラミックス協会、日本複合材料学会、(社)日本水環境学会、(社)日本油化学会、ニューカーボンフォーラム、(社)プラズマ・核融合学会、無機マテリアル学会（順不同、予定）

期日：2004年7月29日（木）

会場：化学会館（東京・神田駿河台）

問合先：〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6 ニッセイ大塚三丁目ビル 炭素材料学会事務局 TEL:03-5940-7640/FAX:03-5940-7980/E-mail:cb-sentan04@r-sipec.jp

場所：化学会館（東京・お茶の水）

参加費（消費税およびテキスト代含む）

炭素材料学会 正会員 30,000 円 炭素材料学会 賛助会員 37,000 円 学生 10,000 円

協賛学協会会員 40,000 円 非会員 47,000 円

10:00～11:05 ナノカーボンとエネルギーデバイスへの応用—現状と将来—

遠藤守信氏 信州大学工学部

11:10～12:15 燃料電池電極用カーボン

高須芳雄氏 信州大学繊維学部

13:15～14:20 燃料電池用カーボンと機能設計

前田秀雄氏 三菱電機（株）

14:25～15:30 燃料電池電極用カーボン

野口実氏 本田技術研究所（株）

15:50～16:55 リチウムイオン電池の負極材料

藤本正久氏 三洋電機（株）